

# 震災緊急企画

市民公開イベント 金沢大学子どもこころの発達研究センター

3月20日(水・祝) 9:10~11:55

石川県立図書館 だんだん広場

事前申し込み不要

9:10-10:05

## 「災害と子どもこころのケア」



子どもの心を癒す羅針盤～震災ケアの専門家

辻井 正次

中京大学現代社会学部教授・学部長

10:05-11:00

## 「仏教×こころ×テクノロジー：子どもたちが楽しく 安らかに暮らせる未来社会を目指して」



熊谷 誠慈 (浄土真宗 住職)

京都大学人と社会の未来研究院・教授

内閣府 ムーンショット目標9 プログラムディレクター

「仏教のこころ理論」について概説するとともに、子どもたちが希望をもち輝ける、明るい未来の実現に向けた「こころのテクノロジー」の研究開発の取り組みを紹介

11:00-11:55

## 「マウスのこころ? : 睡眠・リズム・気分」



内匠 透

神戸大学 大学院医学研究科 教授

未来を守る知の砦：自閉スペクトラム症についてを基礎科学する心強い味方

令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地震により、犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、このような災害下で、金沢大学子どもこころの発達研究センターがなすべきことを検討してまいりました。学術や教育に関する発表のみならず、震災後のこころの健康をテーマにした市民公開の講演会を開催することにより、少しでも子供たちのこころの支援の一助になればと考えております。 主催者：金沢大学 菊知充

**金沢大学子どもこころの発達研究センター**は、2007年10月の設立以来16年が経過しました。2017年には「基礎・橋渡し研究部門」、「臨床・社会実装研究部門」および「文理融合・地域支援部門」の3部門への組織改変が行われ現在に至っています。学術研究の成果を医療、教育、支援の現場へ還元するためには、様々な専門性をもった方々の参加が必要です。引き続き、子どもこころの問題を抱える方々および医療、教育、支援に携わる大勢の皆様からご協力、ご助言を賜ることができますよう、お願い申し上げます。



金沢大学 子どもこころの発達研究センター センター長 横山茂

**内閣府 ムーンショット目標9 要素研究「子どもの好奇心・個性を守り、躍動的な社会を実現する」**

我々の金沢大学研究プログラムは、2022年度より内閣府が進める研究開発プロジェクト「ムーンショット型研究開発事業」に参画しております。この事業では、未来社会を展望し、困難だけど実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象として、人々を魅了する野心的な目標のことをムーンショット目標と呼び、9つの目標を策定しております。我々のプログラムは、熊谷誠慈先生がディレクターを務めるムーンショット目標9「2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現」の中に展開されており、幼少期～学童期のこころにフォーカスしていることに特徴があります。幼少期～学童期に自尊感情が損なわれ安定した対人関係が築けなくなると、こころの成長に影響を及ぼします。我々は目標達成のために、あらゆる子どもたちの個性と好奇心を守り、その結果として将来の精神的に豊かで躍動的な社会を実現することを目指します。



プログラムマネージャー (PM) 金沢大学 菊知充